



新年度が始まりました～♪



★私、青山3丁目からこの1丁目に引っ越してきて7年目になります！

本年度で自治会長4年目に入りました～♪

青山地区の中で一番高齢化が進んでいると言われている1丁目を

何かしらのアクションで活気のある丁目にしたいと考えてきました。

人にはそれぞれ向き不向き、上手い下手がありますがそれを見極めて、上手に繋げば誰でも何かしら地域の役に立つ事が出来るんじゃないかと考えました♪

きっかけを見つけて「考える」「話す」「取り組む」がこの1年の目標です！

Vol. 5

コロナ禍だけど頑張るボランティア・市民活動団体を ご紹介 青1俱楽部

青1俱楽部（あおいちくらぶ）は、住民同士のつながりやまちの活性化を促進し、活気ある地域づくりを目指して活動しています。防犯/パトロールや公園の清掃、イベントの企画・運営など、毎日の暮らしに必要なことから「あつたらいいな」というものまで、メンバーが取り組みの案を出し合い、実践しています。

毎月1回行うのは、地区の廃品回収に合わせ、高齢者宅等をまわって廃品を集積所まで運ぶというもの。活動エリア内には高齢者の1人住まいが10軒ほどあります。重い新聞紙や段ボールを自力で運ぶことが難しいという声を聞き、取り組みが始まりました。「玄関先でピックアップしてくれるで助かる」という反応をもらう一方で、メンバーも廃品が出てることで住民の安否確認ができます。

青1俱楽部の始まりは、数年前この地域に引っ越してきた代表の角石さんの「早く住民と知り合いた



い、地域に馴染みたい」という想いでした。自治会活動にも積極的に取り組む一方で、役割ではなく、より柔軟に楽しく、かつ地域を豊かにしたいとボランティアグループを結成しました。3名だったメンバーが今では50人を超える。「仕事を引退後、何がしたいと思って」と活動に加わったあるメンバーさんは、いつの間にか「困っている人（こと）ないかな？」と地域を見渡したり、積極的にご近所さんとおしゃべりして情報をもらうようになったそうです。

活動を重ねるごとに地域が見え、愛着が湧き、そこで活動することが楽しくなる。そして仲間が増え、住民同士のつながりも広がっていくのだと思います。人とのつながりがコロナ禍を乗り切っていく力になることは、ここ数年で皆が意識してきました。住民があし進める地域づくりに大きな一役を買っていいる青1俱楽部の活躍に今後も期待しています！



★新年度がスタートした事もありこの1丁目で何が必要なのか(足りないのか)を考え、実践に向けて模索しているところです♪

青山周辺には「店舗」が無い訳ではありませんが1丁目にも高齢者が免許返納や交通手段の問題で買い物に行けず毎日、宅配弁当を食べている人が複数居ます。

自分でスーパーまで行き、店内で「見て」「触って」「財布からお金を出して」って言う今まで当たり前に出来ていた事が出来なくなった人が思いのほかいます。後、5年もしたらこの問題がこの地域の1番の問題になると思っています・・・

2022/4/1

何か提案や要望・ご意見・お困りごとがありましたら何でもお聞かせ下さい！

「助け合える1丁目」「笑顔のある1丁目」「美しい街1丁目」をつくる♪

「自治会」に対し、皆様のご協力とご理解をどうか宜しくお願いします

1丁目自治会長：角石(カドイシ)1丁目

